

「中心市街地を考える会」設立に向けて

特定非営利活動法人いいだ応援ネットイデア

理事長 伊藤 昇

南信州アルプスフォーラム

会 長 外松 秀康

リニア開通を9年後（2027年）に控え、工事の進捗はもとより、リニア飯田駅（上郷）周辺の基本計画に注目が集まっている。デザイン会議やワークショップも開催され、今年度中には、その内容が決定されることとなっている。しかし、駅周辺の構想そして地域の拠点との連携、さらには地域全体のまちづくりに関する理念哲学が未だ明確にされておらず、現状での対応では、真の意味での地域の活性化、飯田らしい「おもてなし」の地域開発が望めない状況にある。

特に、拠点の核となる飯田市の中心市街地を考えた時、駅前大型商業施設の撤退、公共施設の老朽化及び建替え、そしてリニア駅からの交通ネットワークの整備（JR 飯田線含）等、喫緊の問題としてその対応が迫られている。私たちは先に、宿泊施設や会議施設、そして飲食施設といったインフラが整い、飯田地域の歴史的意義のある中心市街地で文化会館を中心とする「まちなか MICE」の提案を行ったが、リニア駅周辺へのコンベンション施設等の建設など、何の必然性もないところへ利便性のみで施設を設置する考えに対しては、地域の特性、周辺環境等からも疑問を持たざるを得ない。

このような状況に於いて、官民一体となり、リニア時代における中心市街地の意義、役割、そして今後の展開について考え、同時に地域全体としてリニア開通後の拠点ネットワークの構築を考える一助になるよう、下記の運動を提案するものである。

1. 名称 「中心市街地を考える会」
2. 構成 特定非営利活動法人 いいだ応援ネットイデア
南信州アルプスフォーラム

※その他候補

飯田市、飯田市議会、旧市5地区まちづくり委員会他

中心市街地活性化基本計画の策定の動きを見ながら、広がりを考えていく。

3. 目的

官民一体となり、リニア開通に向けて、地域のあり方、理念を考える。

中心市街地とリニア駅周辺との機能・役割分担、各拠点の魅力創出、拠点ネットワークの構築（交通含め）を取り上げる。

4. 活動内容

- 中心市街地の現状分析及び過去から現在に至る各種提言研究の整理まとめ
- リニア開通に向けての中心市街地の役割、機能、必然性
- まちなか MICE、駅前再開発構想等の研究
- 交通ネットワークの整備（域内及びリニア駅との連携）と将来構想
- 実証実験（ピアゴ撤退後の買い物弱者救済を踏まえた域内ネットワークの構築と運用）
- 提言まとめ・発表

5. 今後の日程

- ～10月初旬 各種団体との調整
- 10月9日 立ち上げ
- ～12月末 中心市街地の構想まとめ 発表
- ～2019年3月 実証研究、提言

6. 予算等

- 今後の進行によって検討

当面は、基本的に南信州アルプスフォーラムの事業費を当てる。ただし、勉強会等の費用は、参加団体等に応分の負担を依頼する。また実証実験等実施の際にかかる費用は別途行政機関等からの助成金補助金等を検討する。

7. 役員構成等

会 長 外松 秀康

副会長 伊藤 昇

その他の役員については、今後参加団体から選出

事務局は、南信州アルプスフォーラムとイデアで対応

中心市街地を考える会-1

1. 設立に当たっての確認

1) 経過

- 7月2日 飯田市議会主催小澤一郎先生講演会
その後、まちなかMICE提案後の対応の必要性の提議あり
- 7月9日 アイデア常任理事会で設立を提案し、南信州アルプスフォーラムの方で、原案の作成を行うことを了承
- 7月31日 南信州アルプスフォーラム運営委員会で原案を検討
- 8月20日 南信州アルプスフォーラム運営委員会で原案を了承
- 8月24日 飯田市今村総合政策部長に原案を提示し、賛同を得るが、中心市街地活性化基本計画策定との重複の可能性を指摘される。
- 8月24日 アイデア企画運営会に原案を提示し、修正点の指摘があるが、設立について了承を得る。
- 9月4日 南信州アルプスフォーラム運営委員会にて、アイデアの議論内容を報告し、今後の進め方について検討
- 9月18日 中心市街地を考える会準備会開催
設立原案に基づいて検討。名称、対外的対応、第1回目の内容等を検討 →それに基づき設立文書を修正
- 9月26日 橋南まちづくり委員会原会長（旧市5地区まちづくり員会代表）に設立の概要を説明。設立については了承を得るが、中心市街地活性化協会、中活計画との関係等指摘あり
- 10月1日 南信州アルプスフォーラム運営委員会にて経過を説明
- 10月1日 飯田市議会リニア特別委員会井坪市議にメールし、面会を申し込み井坪市議からの議会への要請ではなく、一本釣りの方が良いとの返信。本日は議会報告会の為に参加不可

※飯田市遠山産業経済部長との面談は今日までにできず

10/12 中心市街地活性化協会理事会

2) 設立趣意書の内容について（別紙参照）

2. 検討

1) これまでの提案の検討

これまで中心市街地に関して、多くの提案がなされてきました。それらを確認し、その中から中心市街地についての課題を再度抽出することと、提案の中で今後活かしていくべき内容を抽出していただきます。

2) 今後の検討課題の整理

3) 今後の進め方の検討

3. その他

4. 次回開催内容と日程の検討

中心市街地を考える会－2

1. 中心市街地活性化基本計画の策定について

2. 検討

1) 課題の振り返りと通知

※飯田市土地利用計画について（新井さんより）

2) 中心市街地の役割、機能、必然性について

リニア時代に、丘の上は中心拠点として位置づけられているが、中心拠点は何を意味するのかが明確になっていない。中心市街地の中心拠点としての理念をまず考え、その上で、今後の研究課題を抽出していく。

3) アドバイザーの依頼について

4) その他

3. 次回開催内容と日程の検討

中心市街地を考える会－3

1. 今後の進め方について

2. コンベンション施設・屋内体育施設について

南信州広域連合より基本的な考え方が示され、飯田市企画課に関係団体に意見を求めるように連絡がありました。

◎各団体に意見聴取しているポイント

ア. 問題意識と考える視点、コンセプトの方向性について

イ. ビジョンの具体化と発送例について、また、ほかの使い方等を提案いただきたい。

ウ. 他地域・機関との連携・棲み分けについて

※ 特に使い方、コンテンツについて、具体的な提案をいただきたい。

◎意見報告の飯田市企画課集約期限 11月28日（水）（任意様式）

本日の会議は、この件についての検討に充てたいと考えます。

3. その他

4. 次回開催内容と日程の検討

中心市街地を考える会－４

1. コンベンション施設・屋内体育施設への提案について
12月28日 今村総合政策部長へ提出
2. 中心市街地の理念の検討
中心拠点としての中心市街地が、どのような役割、機能を持っていくか、中心拠点としての必然性をどう位置付けるか、その理念を検討する。
今回もグループに分かれて、K J法で、それぞれの思いや考えを出し合って整理して下さい。その中から理念の方向性と同時に、次のステップの検討課題も見えてくると思います。
3. その他
4. 次回開催内容と日程の検討

中心市街地を考える会－５

1. 中心市街地の理念の検討
2. 中心市街地の将来像の検討
3. その他
4. 次回開催内容と日程の検討

中心市街地を考える会－６

1. 中心市街地の理念の検討
2. 中心市街地の将来像の検討
3. 今後の活動の進め方について
4. その他
5. 次回開催内容と日程の検討